

確認しよう・・・「用言の活用」「付属語」「品詞の分類」の説明

## ★「用言の活用」「付属語」について知ろう

文・・・黒木 厚子

### ◎用言の活用について

○ 物や事柄の名前を表す単語のことを、漢字で「体言」と書いて「たいげん」と言います。タイゴン、とまるで新種の怪獣（かいじゅう）のように読まないでくださいね。

「空」「教室」「スタイル」「みかん畑」「令和二年度内閣総理大臣賞受賞」など、短いものから長いものまで、体言はたくさんあります。

○ 事物の名前を表す体言に対して、物事の動きや性質・状態などを表す単語のことを、漢字で「用言」と書いて「ようげん」と言います。「飛ぶ」「書く」「白い」「まぶしい」「安全だ」「のんきだ」などが用言ですが、単語の種類としては三つに分かれます。その三種類とは、動詞・形容詞・形容動詞です。それぞれの特徴を挙げると、左のようになります。

#### ・動詞

文の終わりなどで使う「言い切りの形」にしたとき、言葉の最後を長く伸ばしてみると、「飛ぶウー」「追いかけるウー」など、「ウー」という音になるのが特徴です。また、「飛ば（ナイ）」「飛ん（ダ）」「飛べ（バ）」など、下に付く言葉が変わると、動詞自体も形を変えます。

このように、下につく言葉によって形を変えることを、文法の専門用語で「活用」と言います。例えば、「書く」という動詞も、「書い（テ）」「書く（トキ）」「書け（バ）」というように活用するのです。

#### ・形容詞

「丸い」「すがすがしい」などのように、「言い切りの形」にしたとき、言葉の最後が「い」になる用言です。

形容詞も活用する単語で、「丸かつ（タ）」「丸けれ（バ）」のように、下に言葉が付くと形が変わります。

#### ・形容動詞

「危険だ」「おだやかだ」などのように、「言い切りの形」にしたとき、言葉の最後が「だ」になる用言です。

形容動詞も活用する単語で、「おだやかだつ（タ）」「おだやかなら（バ）」のように、下に言葉が付くと形が変わります。

### ◎付属語について

○ 日本語の単語のうち、物の名前である名詞、動きや性質・状態などを表す動詞、形容詞、形容動詞などは、それだけでも意味が伝わる語で、「自立語（じりつご）」と言います。

自立語とは対照的に、「食（べ）ます」の「ます」、「受けられる」の「られる」、「山奥で」の「で」、「強いから」の「から」などは、それだけでは意味が伝わりません。これらを総称して「付属語（ふぞくご）」と言います。

○ 付属語にあたる単語は、「助動詞」「助詞」の二つです。それぞれ次のような語が挙げられます。

- ・助動詞…れる せる たい ない うた ます らしい ようだ そうだ まい だ
  - ・助詞 …が の に より は さえ ながら つつ よ ね
- (\*その他)

【文法の学習（用言・付属語・品詞分類）】学習プリントその2

( ) (年) (組) (氏名)

問いに答えよう・・・「用言の活用」

問1 用言に関して述べた文章の( )にあてはまる語句を、漢字で答えなさい。

- 十個ある日本語の品詞のうち、「わらう」「起きる」「勉強する」は(①) ( )、「赤い」  
 「美しい」は(②) ( )、「のんきだ」「安全だ」は(③) ( )  
 である。これら①②③をまとめて(④) ( )という。④は、いずれも文中で形が変  
 わるが、このことを(⑤) ( )という。

- ⑤によって変化した単語の形のことを「活用形」という。活用形は6種類で、活用表として  
 一覧にしたとき、上から順番に、(⑥) ( )、連用形、(⑦) ( )、連体形、  
 (⑧) ( )、命令形となる。

- 用言である一単語において、下に付く語が何であっても変化するということがない部分を  
 (⑨) ( )という。「わらう」という語の(⑨)は「わら」、起きる」という語の(⑨)  
 は「起」である。(⑨)とは反対に、下に付く語によって変化する部分を(⑩) ( )、  
 または活用語尾という。「わらう」という語の(⑩)は「う」、起きる」という語の(⑩)は  
 「きる」である。

活用形を見分けるため、動詞の  
下に付ける言葉。

問2 動詞について、次の表を完成させなさい。

語句	語幹	活用形					
		未然形	連用形	終止形	連体形	假定形	命令形
【例】書く	書	か キ キル	き キ キテ	く ク クト	く ク クテ	け ケ ケテ	け ケ ケテ
①飛ぶ							
②起きる							
③受ける							
④来る							
⑤する		し シ シセ	し シ シテ	する スル スル	する スル スル	すれ スレ スレ	

問3 動詞の活用の仕方に関して述べた文章の( )にあてはまる語句を答えなさい。

- 動詞の活用の仕方は、五種類である。右の表の①のように、「アイウエオ」の五段すべてに  
 ついて活用する場合を(A) ( )という。②のように、「イ」の段について  
 活用する場合を(B) ( )という。③のように「エ」の段について活用する場合が  
 二つあり、「来る」という語は(D) ( )、略してサ変という。  
 ④のように「イ」の段について活用する場合が  
 二つあり、「来る」という語は(D) ( )、略してサ変という。  
 ABCDEの活用のパターンを、まとめて(F) ( )という。



【文法の学習（用言・付属語・品詞分類）】学習プリントその4

問いに答えよう・・・「付属語」「品詞の分類」

問1 次の――部の助動詞の意味を、次の中から選び、漢字で正確に答えなさい。

(意味)

(意味)

⑤	明日こそは晴れる <u>そう</u> だ。		⑩	たった今 <u>たどり着いた</u> ところだ。	
④	今日こそは晴れ <u>そう</u> だ。		⑨	先生に <u>しかられる</u> 前に直そう。	
③	君はたしか東北生まれ <u>だった</u> かね。		⑧	いつか夢の王国を <u>作ります</u> 。	
②	清掃区域に <u>まだ来ない</u> のか。		⑦	無理に歌を歌 <u>わせる</u> のか。	
①	これは君の責任 <u>だよ</u> 。		⑥	僕も <u>すぐ</u> に行こう。	

推定	意志	過去	確認(想起)	使役	断定
希望	否定	伝聞	受身	完了	丁寧

問2 助詞に関して述べた文章の( )にあてはまる語句を、漢字で答えなさい。

- 助詞は、四つの種類に分類される。「が・に・より・から」などを( )、  
「は・だけ・ばかり・ずつ」などを( )、  
「( )、( )、( )、( )」などで「つつ・ながら」などを( )、  
特に注意すべき助詞は「は」で、「私は行きます」のように、体言に直接付くことが多いた  
めに、『は』は格助詞では、「と間違っ」てしまいがちである。

問3 次の――部の助詞と同じ使い方のものを二つ選び、ア～ウの記号で答えなさい。

- ① ノートと鉛筆を五時までに買って来てください。( )  
ア 弟と私は、トランプ遊びをした。  
イ 弟が帰ってきたと、祖母が知らせてくれた。  
ウ 弟が帰ってくると、いつもにぎやかになる。

- ② ノートも鉛筆も買って来たから、もう安心だよ。( )  
ア 三時に妹が、学校から帰ってきた。  
イ 妹が帰ってきたから、すぐに出かけられるね。  
ウ 朝方には空から雪が降ってくるという予報だ。

問4 次の①～⑫の品詞名を、ア～コから選び、記号で答えなさい。

ア	名詞	イ	動詞	ウ	形容詞	エ	形容動詞	オ	副詞
カ	連体詞	キ	接続詞	ク	感動詞	ケ	助動詞	コ	助詞

- |   |      |     |   |      |     |   |     |     |
|---|------|-----|---|------|-----|---|-----|-----|
| ① | あの   | ( ) | ② | 深い   | ( ) | ③ | 危険だ | ( ) |
| ④ | など   | ( ) | ⑤ | もしもし | ( ) | ⑥ | 大学生 | ( ) |
| ⑦ | ずっと  | ( ) | ⑧ | 勉強する | ( ) | ⑨ | そして | ( ) |
| ⑩ | きれいな | ( ) | ⑪ | られる  | ( ) | ⑫ | 小さく | ( ) |



【解答】 文法の学習（用言・付属語・品詞分類）学習プリントその2

問1

- ① 動詞      ② 形容詞      ③ 形容動詞      ④ 用言      ⑤ 活用  
 ⑥ 未然形      ⑦ 終止形      ⑧ 仮定形      ⑨ 語幹（ごかん）      ⑩ 語尾（語尾）

問2

① 飛ぶ	飛						
② 起きる	起						
③ 受ける	受						
④ 来る							
⑤ する							
	し	せ	さ	こ	け	き	ぼ
		し	き	き	け	き	ん
	する	くる	ける	きる	ぶ		
	する	くる	ける	きる	ぶ		
	すれ	くれ	けれ	きれ	べ		
	せよ	しろ	こう	けよ	けろ	きよ	きろ

問3

- A 五段活用      B 上一段活用      C 下一段活用  
 D カ行変格活用      E サ行変格活      F 活用の種類

【解答】 文法の学習（用言・付属語・品詞分類）学習プリントその3

問1

- ① カ      ② キ      ③ ク      ④ イ      ⑤ エ      ⑥ オ  
 ⑦ ア      ⑧ カ      ⑨ ウ      ⑩ ク      ⑪ イ      ⑫ キ  
 （→活用しているが「小さい」）

問2

- ① 使役（しえき）      ② 可能      ③ 希望      ④ 否定      ⑤ 勧誘  
 ⑥ 存続      ⑦ 丁寧      ⑧ 断定      ⑨ 推定      ⑩ 否定の推量

問3

- ① そうだ      ② られる      ③ う      ④ だ      ⑤ せる  
 ⑥ られる      ⑦ です      ⑧ たがる      ⑨ まい      ⑩ まい

問4

- ① ようだ      ② らしい      ③ ない      ④ ます      ⑤ れる      ⑥ たい

【解答】 文法の学習（用言・付属語・品詞分類）学習プリントその4

問1

- ① 断定      ② 否定      ③ 確認      ④ 推定      ⑤ 伝聞  
 ⑥ 意志      ⑦ 使役      ⑧ 丁寧      ⑨ 受身      ⑩ 完了

問2

- ① 格助詞      ② 副助詞      ③ 接続助詞      ④ 終助詞

問3

- ① ア      ② イ

問4

- ① カ      ② ウ      ③ エ      ④ コ      ⑤ ク      ⑥ ア  
 ⑦ オ      ⑧ イ      ⑨ キ      ⑩ エ      ⑪ ケ      ⑫ ウ